

2025年12月期 第2四半期決算説明資料

~事業計画及び成長可能性に関する事項~

2025/08/29

株式会社Welby
(証券コード 4438)



目次

1

会社概要

2

2025年第2四半期期業績

3

今期重点取組施策とその進捗

4

今後の成長

5

参考資料



“Empower the Patients”

患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する

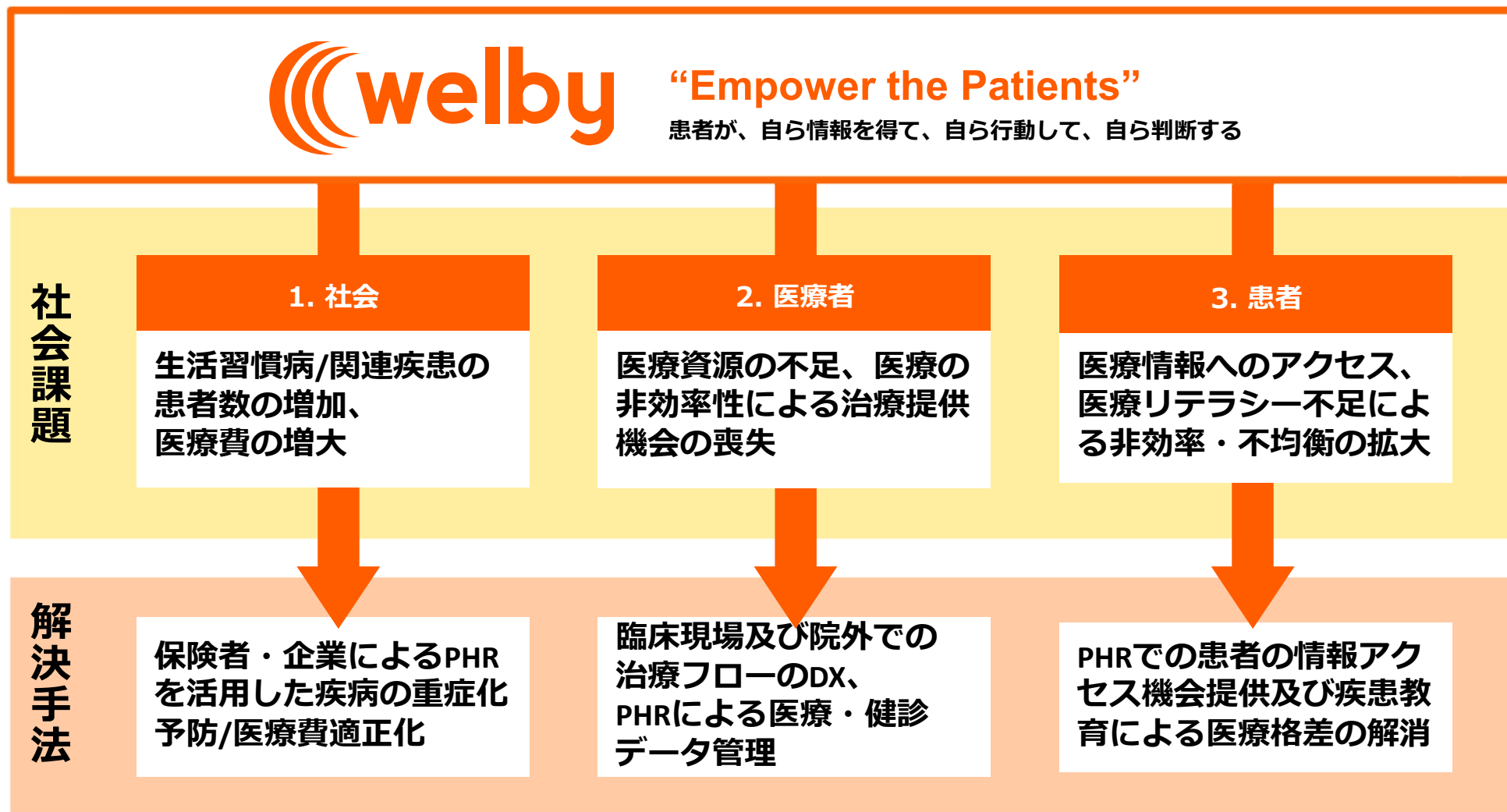


Now

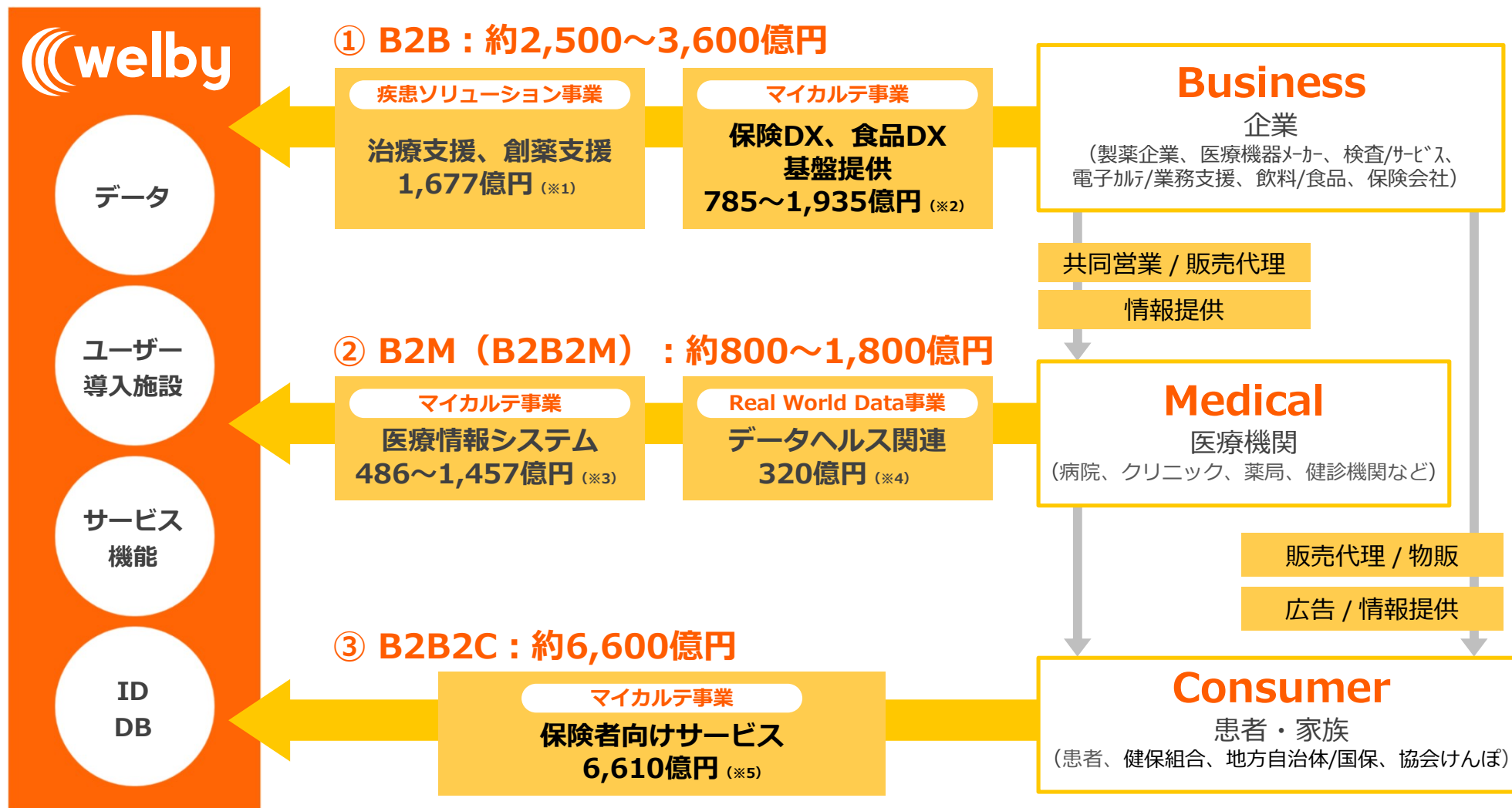


Future

MissionであるEmpower the Patients の実現を通じて、医療にまつわる様々な社会課題の解決を図る



※PHR:Personal Health Recordの略で個人のHealth Recordを管理共有する仕組み



※1 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.2」より、創薬支援、医療ビッグデータ分析、医薬品開発支援、医療向けプロモーション市場規模の合計1284億円と、同文献項目、ビッグデータ活用治療・診断システムの市場規模3928億円のうち、10%にあたる393億を合算した1677億を潜在市場として想定。

※2 保険DX市場は、矢野経済研究所:「2022 生命保険会社におけるInsuretech市場の実態と展望」における2022年同市場規模2,470億円の10%~30%を潜在市場として推定。

食品DX市場は、dentsu:「日本の広告費」における2023年食品業界広告費2,104億円のうち、10%を潜在市場と推定。

基盤提供は、富士キメラ総研:「ウェアラブル/ヘルスケアビジネス総調査 2023」より、システム・サービスの国内市場における2022年見込みの3280億円の10~30%を潜在市場として推定し、各市場を合算。

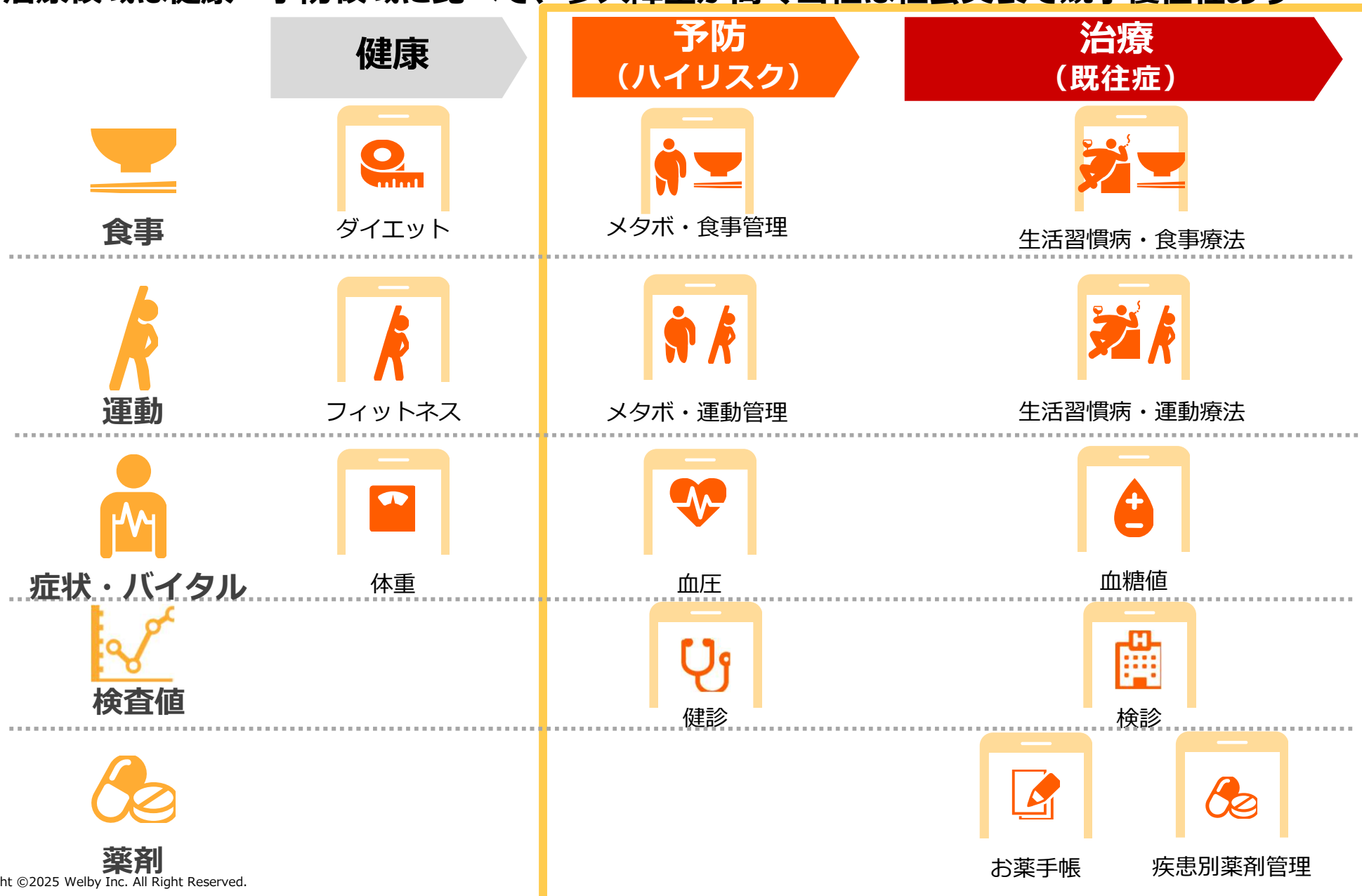
※3 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.1」より、医療情報システムの国内市場規模4855億の10%~30%を潜在市場として推定。

※4 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局:「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 統合型ヘルスケアシステムの構築、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」より2026年のリアルワールドデータ市場規模推計値。

※5 経済産業省:「健康経営の推進について」(令和6年3月)より、「従業員が健康的に働けるように職場環境を整える企業・保険者向けサービス」の市場規模の金額。

予防・治療領域に特化したPHRプラットフォームサービス

治療領域は健康・予防領域に比べて、参入障壁が高く当社は社会実装で競争優位性あり



「治療アプリ」として、PHRを処方する時代に

～医療機関にて患者に疾患別アプリを紹介：糖尿病、高血圧、がん等～

1 医師が患者にアプリを紹介

クリニック専用パンフレットで案内
クリニック専用アプリを提供



2 患者自身がかんたん記録

バイタル/食事/運動/処方/睡眠
検査値等測定機器と連動

Bluetooth® HRジョイント



4 療養指導を効率的/効果的に 患者の治療が継続

治療継続・効率化

アウトカム改善

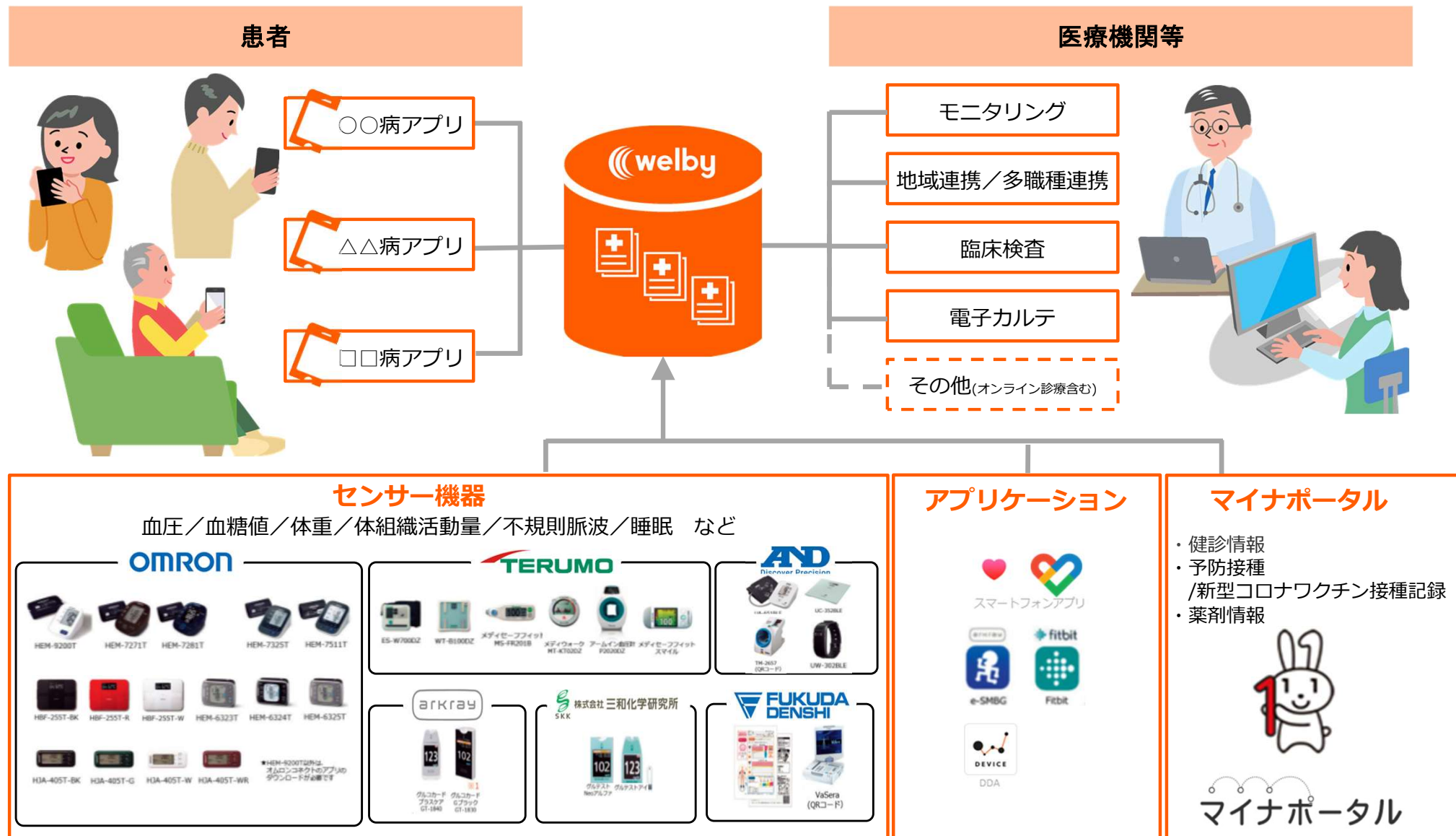


3 データは医療機関と共有 データをグラフ等で確認

医療機関の
PC/タブレット等で確認



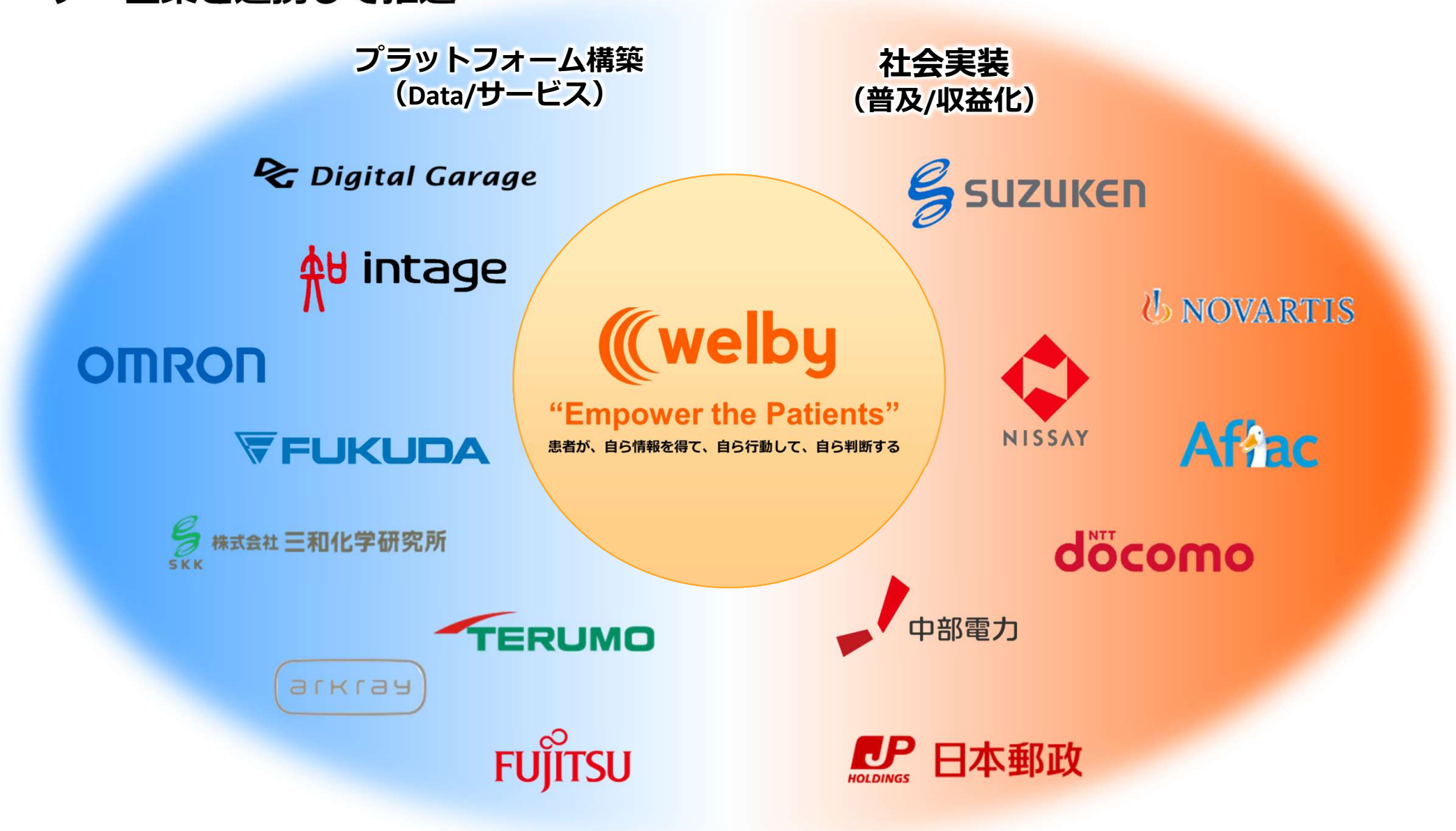
各種センサー機器、アプリケーション及び電子カルテ、マイナポータル等と連携可能な患者起点のデータプラットフォームを提供



データ連携によるサービス価値向上と、サービス普及による社会実装を各パートナー企業と連携して推進

プラットフォーム構築
(Data/サービス)

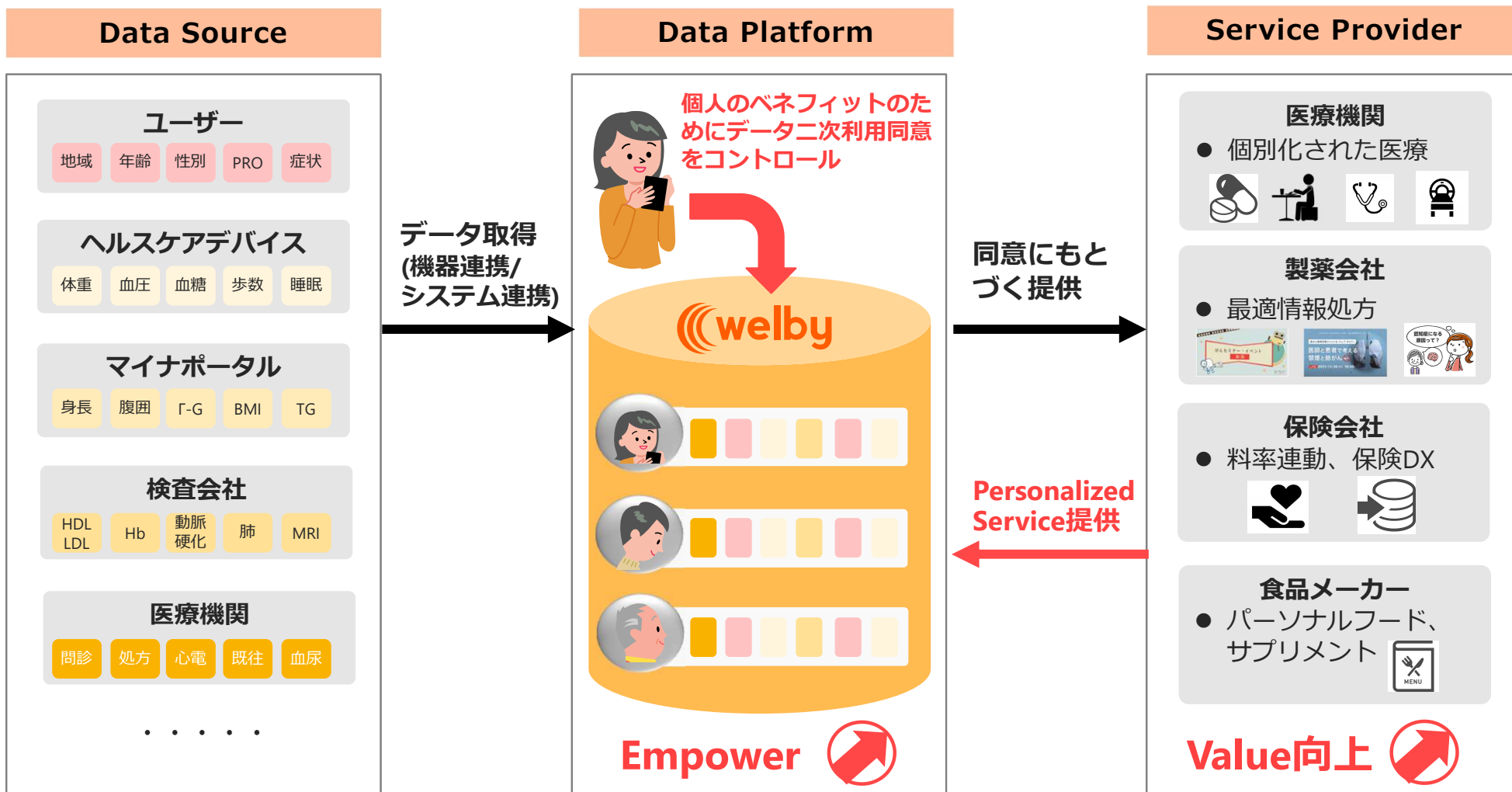
社会実装
(普及/収益化)



中期的な事業基盤の構築に向け、疾患領域戦略とアライアンスパートナーとの協業を通じて普及拡大を図る

	事業戦略	KPIとその進捗(25年6月末)
プライマリ領域	<ul style="list-style-type: none"> 各疾患領域でアライアンスパートナーと連携し、医療機関への普及を加速 PHRサービス・データ利用のSaaS/PaaS型事業の拡大 多様なデータ連携によるData Portabilityの推進 ユーザー向けPersonalized（個別化）サービスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> マイカルテ契約医療機関数6,757軒（内科系医療機関の9.5%） 内科系医療機関の内、登録かかりつけ医療機関数比率： <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>循環器内科</p> <p>54.2%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>糖尿病内科</p> <p>56.5%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>内科</p> <p>34.1%</p> </div> </div>
オンコロジー領域	<p>製薬企業や医薬品卸などアライアンスパートナー連携での「マイカルテONC」導入を加速</p> <ul style="list-style-type: none"> がん種/薬剤/ニーズ別に、患者サポートプログラムの個別OEM開発 臨床研究向けePRO、レジストリ研究によるデータソリューションを強化 	<p>がん診療連携拠点病院等の内、契約医療機関数比率： 医療機関463軒の内、63軒（13.6%）契約済</p> <div style="text-align: center;"> <p>13.6%</p> </div>

主に慢性疾患の治療・未病領域におけるアウトカム向上にフォーカス データの活用範囲を定め、同領域でサービス提供する顧客の事業拡大に貢献



取組 1
各疾患領域のアウトカム向上に貢献するデータを中心に集約

取組 2
個人の利用目的とUXに沿ったデータ管理と同意取得管理を提供

取組 3
同意取得に基づいたデータ利用により個別化サービスを提供

目次

1

会社概要

2

2025年第2四半期期業績

3

今期重点取組施策とその進捗

4

今後の成長

5

参考資料

売上高は、新規PHRサービス開発による事業収益及び新規投資したメディカルデータカードの事業収益などの新たなポートフォリオの貢献により前期比増収。

売上総利益は、売上高増加及びプラットフォーム開発投資の効果の一つである標準化による開発コストの低減での原価削減により前期比増益。

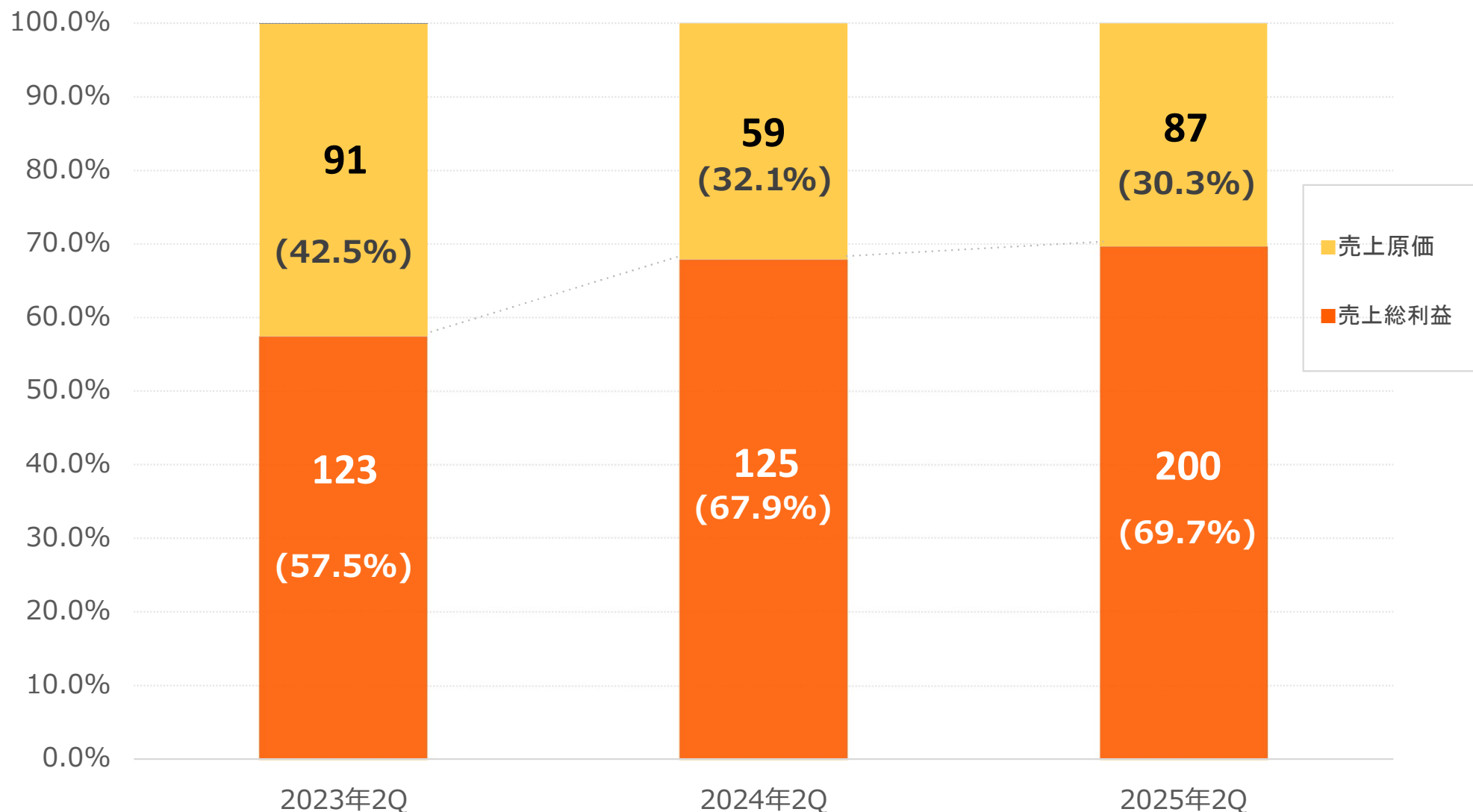
(単位：百万円)

	2025年 2Q実績	2024年 2Q実績	増減額	増減率	2025年 12月期予想
売上高	287	185	+102	+55.3%	1,152
（疾患ソリューション事業）	134	162	-27	-17.2%	—
（マイカルテ事業）	153	22	+130	+574.7%	—
売上総利益	200	125	+74	+59.4%	—
営業利益	-249	-307	+57	—	-86
経常利益	-250	-308	+57	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	-243	-303	+59	—	—
先行投資金額	82	110	+28	-25.5%	—

※先行投資金額：マイカルテへの投資とプラットフォーム開発への投資の合計
 ※疾患ソリューション事業には一部Real World Data事業での収益を含む

売上高増加及びプラットフォーム開発投資による開発コストの低減により売上総利益は前期比+74百万円、売上総利益率は前期比+1.8%の改善傾向

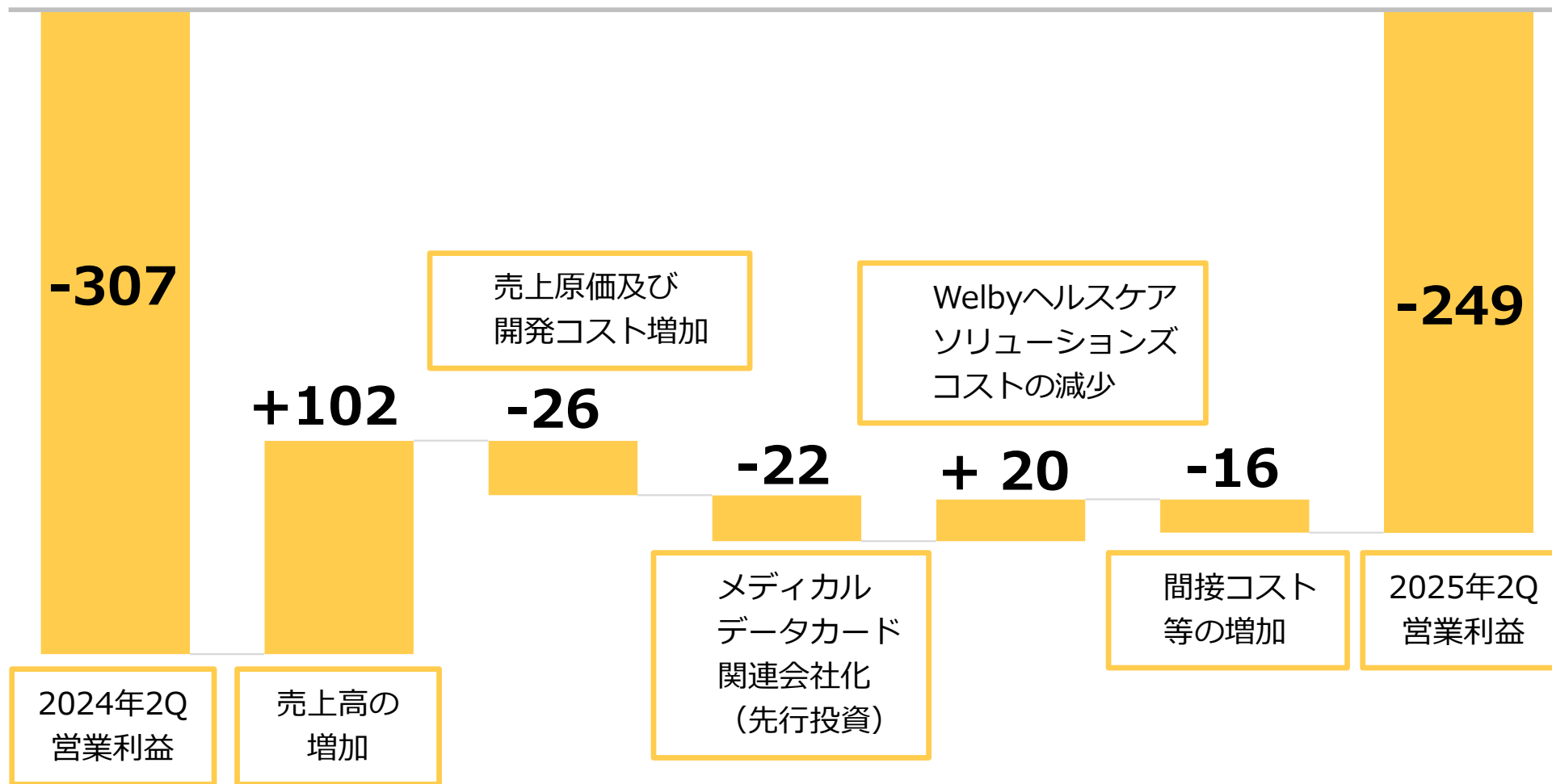
(単位：百万円)



※2023年第1四半期以前は単体決算であるため、前々期の数値は参考データ

- 新規PHRサービス開発による事業収益及び新規投資したメディカルデータカードの事業収益など新たなポートフォリオによる収益増加
- プラットフォーム化による、開発全体での運用標準化によるコスト削減
- メディカルデータカードの子会社化に伴うコスト増加

(単位：百万円)



(単位：百万円)

BS

	2025年 2Q末	2024年 4Q末	増減額
流動資産	715	973	-258
固定資産	251	193	+57
資産 合計	966	1,167	-200
流動負債	347	328	+19
固定負債	17	0	+17
負債 小計	365	328	+36
純資産	600	838	-237
純資産 小計	600	838	-237
負債・純資産 合計	966	1,167	-200

CF

	2025年 2Q末	2024年 2Q末	増減額
現預金の期首残高	740	883	-142
営業キャッシュ・フロー	-138	-119	-19
投資キャッシュ・フロー	-68	-153	+84
財務キャッシュ・フロー	34	695	-660
現預金の期末残高	567	1,305	-738

新規ポートフォリオによる事業収益拡大と、既存パイプライン案件の着実なデリバリー及び販管費のコントロールにより、前年水準より大幅な成長を実現する

売上高

下記取組により前年度から+118.1%の成長を見込む

- 製薬企業向けの受注活動や既存PHRサービスの改修等の取組
- 製薬ドメイン以外の新規PHR事業者に対して当社基盤を提供する取組
- 保険者（健康保険組合・市町村国保・共済組合・協会けんぽ）向けソリューションの事業拡大

営業利益

売上総利益率の向上及び定常的な販売管理費のコントロールに努めることにより前年度から+568Mの改善を見込む。一方、将来的な事業成長のため下記投資の加速は行う

- プラットフォーム開発への投資
- 当社サービスの医療機関等への普及投資

(単位：百万円)	売上高	売上総利益	売上総利益率	営業利益
業績予想（2025年8月）	1,152	-	-	△86
2024年12月期	528	379	71.9%	△654
2023年12月期	575	376	65.4%	△437

目次

1

会社概要

2

2025年第2四半期期業績

3

今期重点取組施策とその進捗

4

今後の成長

5

参考資料

疾患ソリューション 事業



PHRの実臨床での活用推進

データ利活用を見据えたPHRプラットフォーム基盤の提供

Real World Dataを活用したユーザーリサーチ事業等の推進強化

マイカルテ事業



マイカルテOEM利用の拡大

健診受診率向上及び疾病の重症化予防を推進

パートナー（スズケン、日本生命等）との協業による認知拡大

PHR事業基盤構築






医療・健診データの統合

Data Portabilityの実現

プラットフォーム開発への積極投資

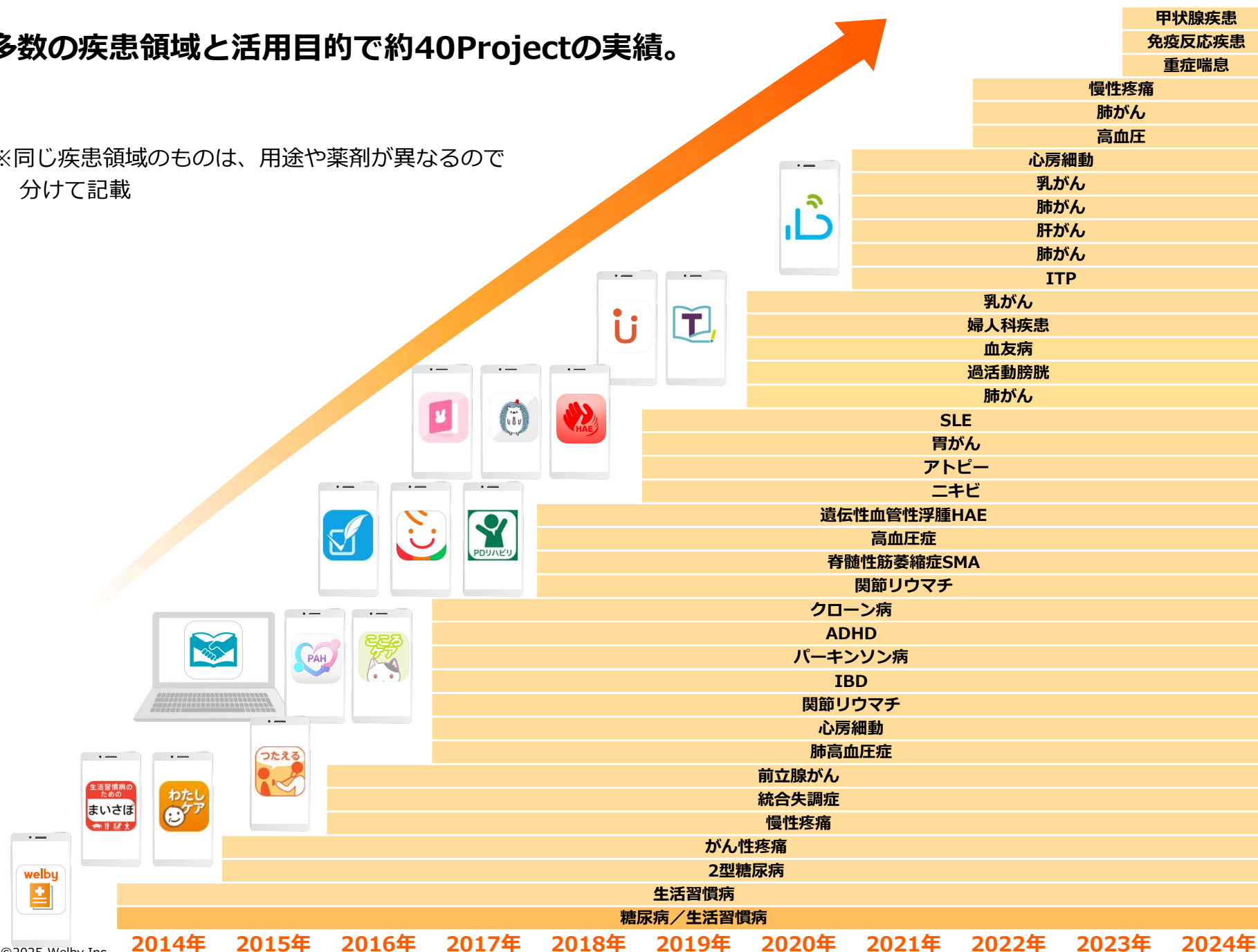
PHR業界発展への貢献

分類	内容
<p data-bbox="129 379 501 480">疾患ソリューション 事業</p> 	<p data-bbox="562 363 2092 448">高血圧患者のPHR血圧管理サポートを強化。Welbyとノバルティス、降圧目標達成率向上に向けた協業に合意</p> <p data-bbox="562 485 1995 520">造血細胞移植後長期フォローアップを支援するウェブツール「LTFUポケット」を提供開始</p> <p data-bbox="562 557 2092 641">Welbyが日本生命と協働にて『じぶんで血糖チェック』を支援リニューアル、PHR基盤で血糖管理をスマートに進化</p>
<p data-bbox="174 727 456 767">マイカルテ事業</p> 	<p data-bbox="562 679 1794 764">PHRを活用した保険者向け事業として「みなし健診」サービスの事業化を推進 (特定健康診査受診率の向上を推進)</p> <p data-bbox="562 801 2092 885">Welby、東京内科医会とPHR普及に向けた連携に合意 (生活習慣病の重症化予防と地域医療の強化を目指して)</p> <p data-bbox="562 922 2092 1062">Welby、PHRプラットフォーム「Welbyマイカルテ」によるアボットジャパンの持続グルコース測定器「FreeStyleリブレ2®」とのCGMデータ連携開始を発表 (患者のCGMデータが医療者向けのWelbyマイカルテ上で閲覧可能)</p>
<p data-bbox="152 1161 479 1201">PHR事業基盤構築</p> 	<p data-bbox="562 1102 2024 1137">メディカルデータカードの子会社化による検査値データ連携強化でのData Portabilityの推進</p> <p data-bbox="562 1174 1599 1209">プラットフォーム基盤 (WPDP) 強化への先行投資/案件化を推進</p> <p data-bbox="562 1262 1626 1297">PHR業界団体への参画及び発展貢献 (標準化及びガイドライン策定)</p> <p data-bbox="562 1350 2092 1481">Welby、医療データ利活用のさらなる進化に応え、PHRプラットフォーム「Welbyマイカルテ」をフルリニューアル (セキュリティをさらに強化し、UI/UXを再設計。PHRの利活用の実践を加速する次世代のデジタル基盤として)</p>

製薬企業向け疾患領域別PHRのOEM開発の拡大

多数の疾患領域と活用目的で約40Projectの実績。

※同じ疾患領域のものは、用途や薬剤が異なるので分けて記載



PHRを活用した保険者向け事業の推進

～医療費適正化に向けて、みなし健診・受診勧奨・重症化予防の提供～

PHRの社会実装として、保険者領域でのPHR活用の幅を拡大

我が国が直面する社会的課題

超高齢社会の到来

2050年に40%が高齢者、
10%要介護者

生産年齢人口の減少

2050年に総人口20%減少、
生産年齢人口は30%減少

社会保障制度の危機

2040年に医療費・介護費の増加により
社会保障の負担額も約35%増加

解決に向けた施策

健康寿命の延伸/Well-being・QOLの向上、持続的な社会保障制度構築 **(医療費・介護費適正化)**

※国民医療費2023年度47.3兆円、2040年度79兆円と予測（1.7倍）厚生労働省「医療費の将来予測」

今後さらに医療費適正化に大きな予算が投下される

医療費適正化ビジネスの拡大

Welbyのソリューション展開

PHRを活用した医療費適正化/治療アウトカム向上

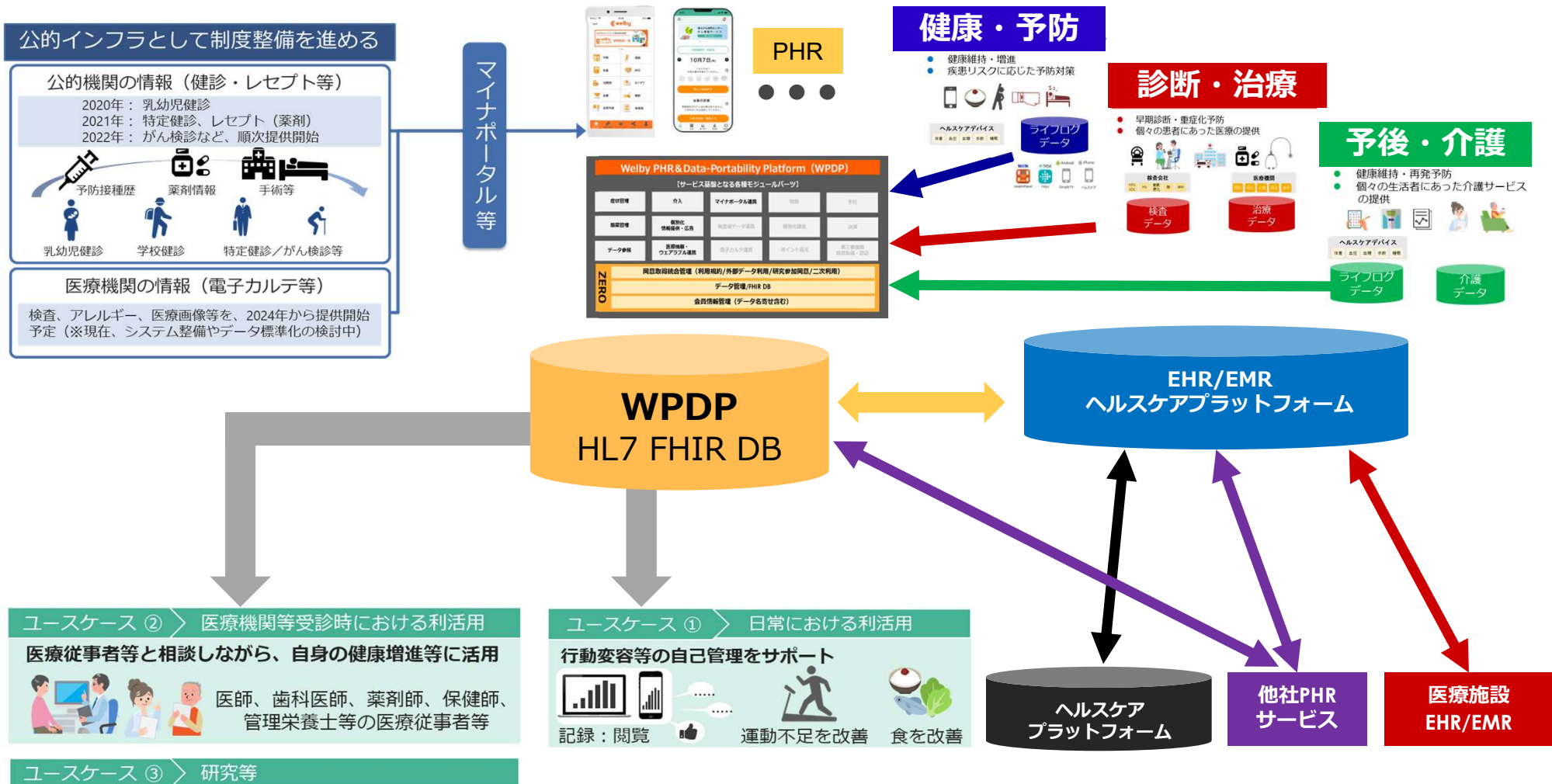
1 未受診「岩盤層」対策
みなし健診

2 二次健診放置群
「受診勧奨」対策
専門医オンライン勧奨

3 これまでの課題を解決
する「重症化予防」対
通院支援重症化予防

医療ヘルスケアデータポータビリティ社会の実現

生活者/患者PHRデータ（医療・検診情報含む）を収集・管理することにより、自社独自のユーザ個人に紐づくPHRデータベースを構築。二次同意に基づき医療機関や協業他社とデータ共有でき、医療の質向上に貢献



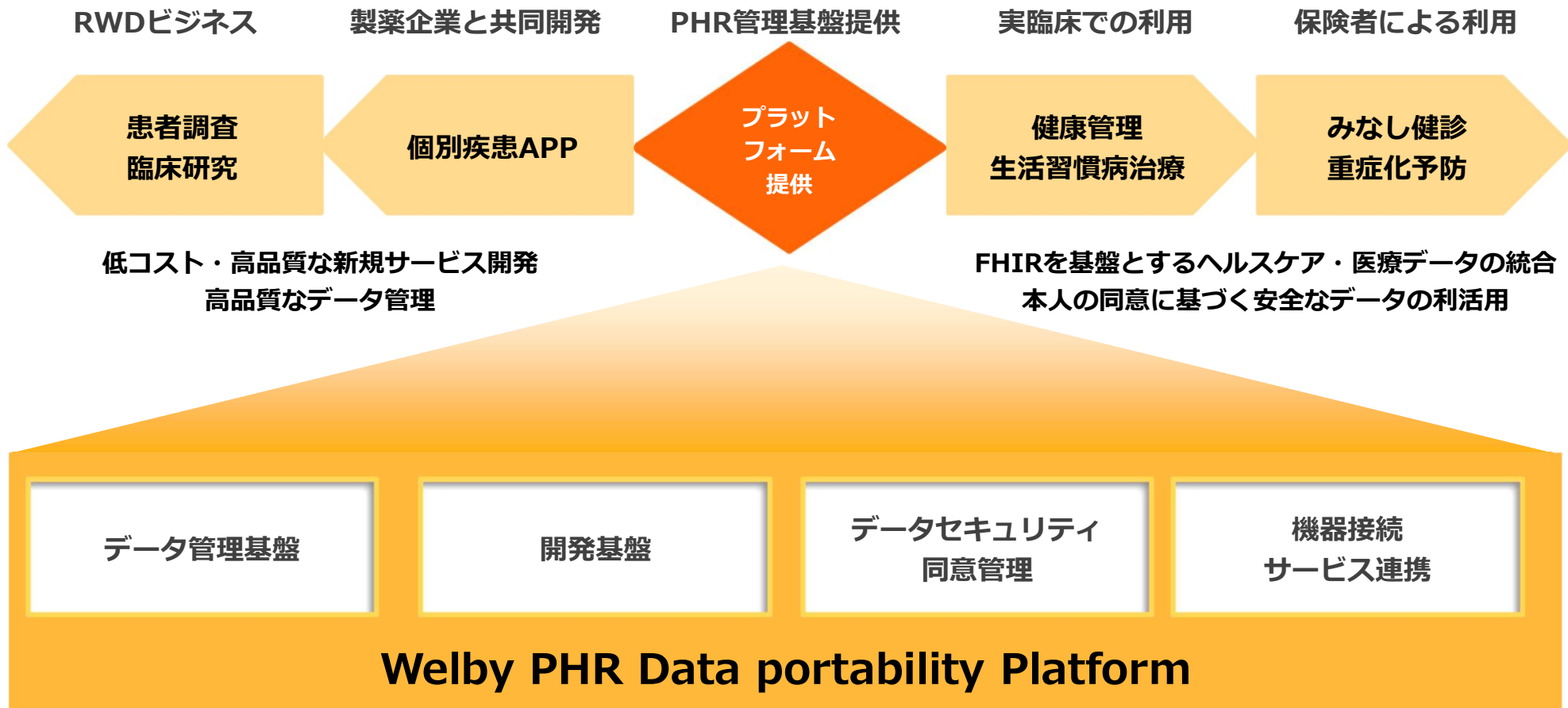
※厚生労働省「PHR（Personal Health Record）サービスの利活用に向けた国の検討経緯について」を一部加筆修正

プラットフォーム基盤強化と商品開発

医療ヘルスケアデータポータビリティを実現するPHR管理基盤への投資を継続し、継続的な商品開発と収益基盤強化を図る

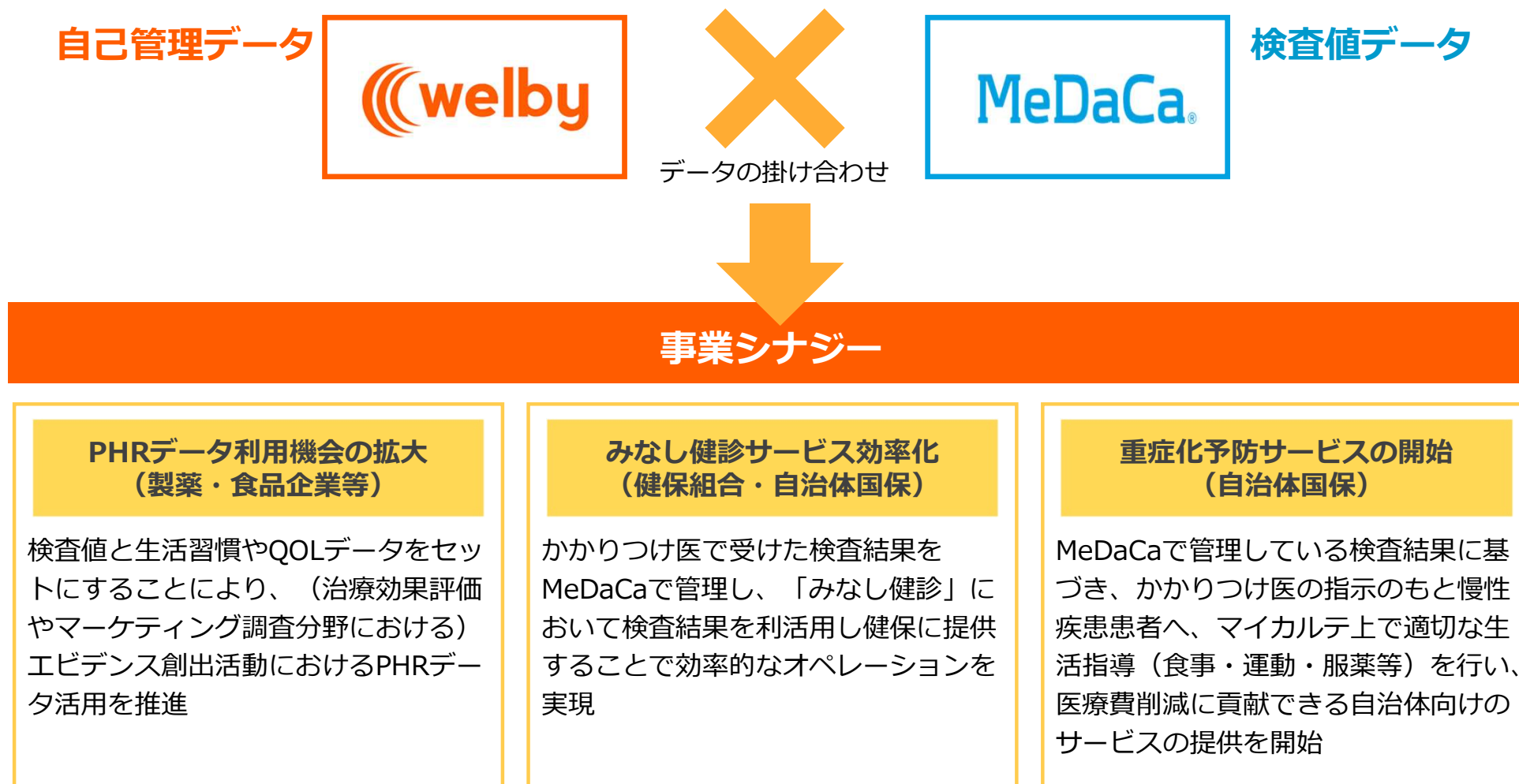
疾患ソリューション事業 (対象疾患領域拡大)

マイカルテ事業 (PHRデータ利活用の推進)



メディカルデータカードの子会社化によるData Portabilityの推進

メディカルデータカード社が管理する臨床検査データをWelbyグループの事業で活用することで、①製薬企業やメディカル/ヘルスケア領域関連企業によるエビデンス創出分野におけるPHR利用機会を拡大、②「みなし健診サービス」における事業の効率化、③自治体や健保組合向けの新規サービスとして「重症化予防サービス」を開始する



PHR業界団体への参画及び発展貢献 ～標準化及びガイドライン策定～

PHRサービス事業協会※1

標準化の 検討

- ユースケース抽出
- メタ項目検討
- ライフログ標準化
- システム化検討

業界 ガイドラインの 改定検討

- PHR指針※2 改定に伴う反映検討
- セキュリティ・個人情報保護
- 疾患7領域別サービス品質事例集
- 広告表示



国のPHR指針を補完する位置づけとして2024年6月28日に発出

民間事業者のPHRサービスに関わるガイドライン（第3版）

利用者への説明と
同意に基づく
サービスの提供

講じるべき
セキュリティ対策

サービス間のデータ連
携のための標準化

アプリ自体／アプリ内
広告表示の方法

※1 当社代表取締役 比木が副会長を務める

※2 3省（総務省・経済産業省・厚生労働省）がPHRサービス提供者向けに健診等情報の取り扱いについて整理した指針

目次

1

会社概要

2

2025年第2四半期業績

3

今期重点取組施策とその進捗

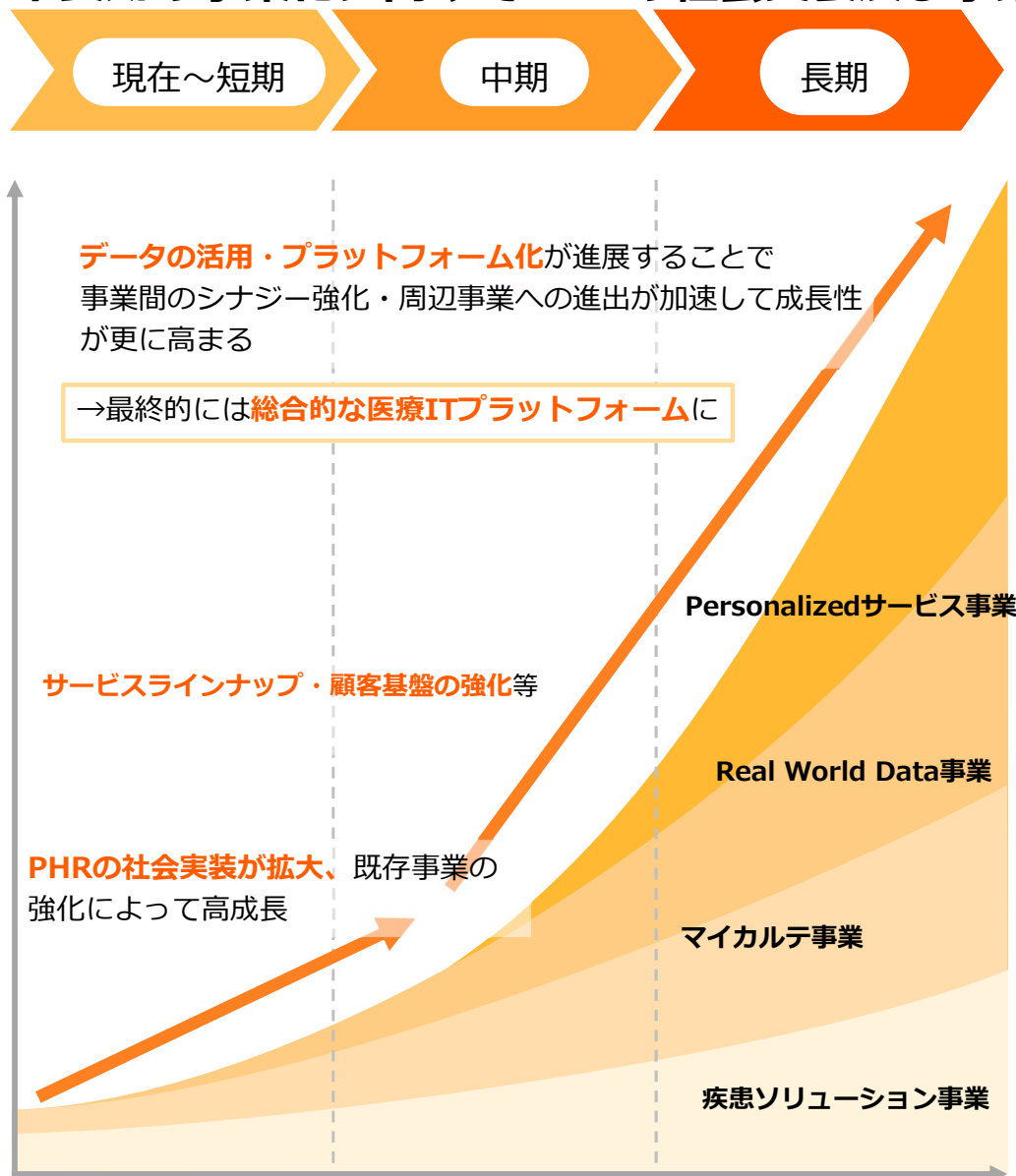
4

今後の成長

5

参考資料

短期的に疾患ソリューション事業及びマイカルテ事業で収益拡大を行いつつ、 中長期の事業化に向けてPHRの社会実装及び事業開発を推進



現在～短期

✓ 疾患ソリューション事業：

PHRを活用したPSP支援の拡大、開発したプラットフォームを製薬企業などへOEM提供し利用拡大、患者向けコンテンツ管理サービス及びReal World Dataを活用したユーザーリサーチ事業で収益拡大

✓ マイカルテ事業：

マイナポータルや検査データ連携が実現したマイカルテの実臨床利用を推進、健保・自治体向けソリューションとして、みなし健診、重症化予防事業で収益拡大

中期～長期

✓ Real World Data事業

PHR共通基盤を活用したサービスの臨床実装、患者レジストリ研究、臨床研究などが拡大し、二次利用の同意取得をしたPHRデータの利活用事業を推進

✓ Personalizedサービス事業

B2Mサービス（医療機関の業務効率や診療を支援）、B2Bサービス（疾患教育、個別化情報提供など）、PHRプラットフォームサービス価値向上による収益機会の獲得

目次

1

会社概要

2

2025年第2四半期期業績

3

今期重点取組施策とその進捗

4

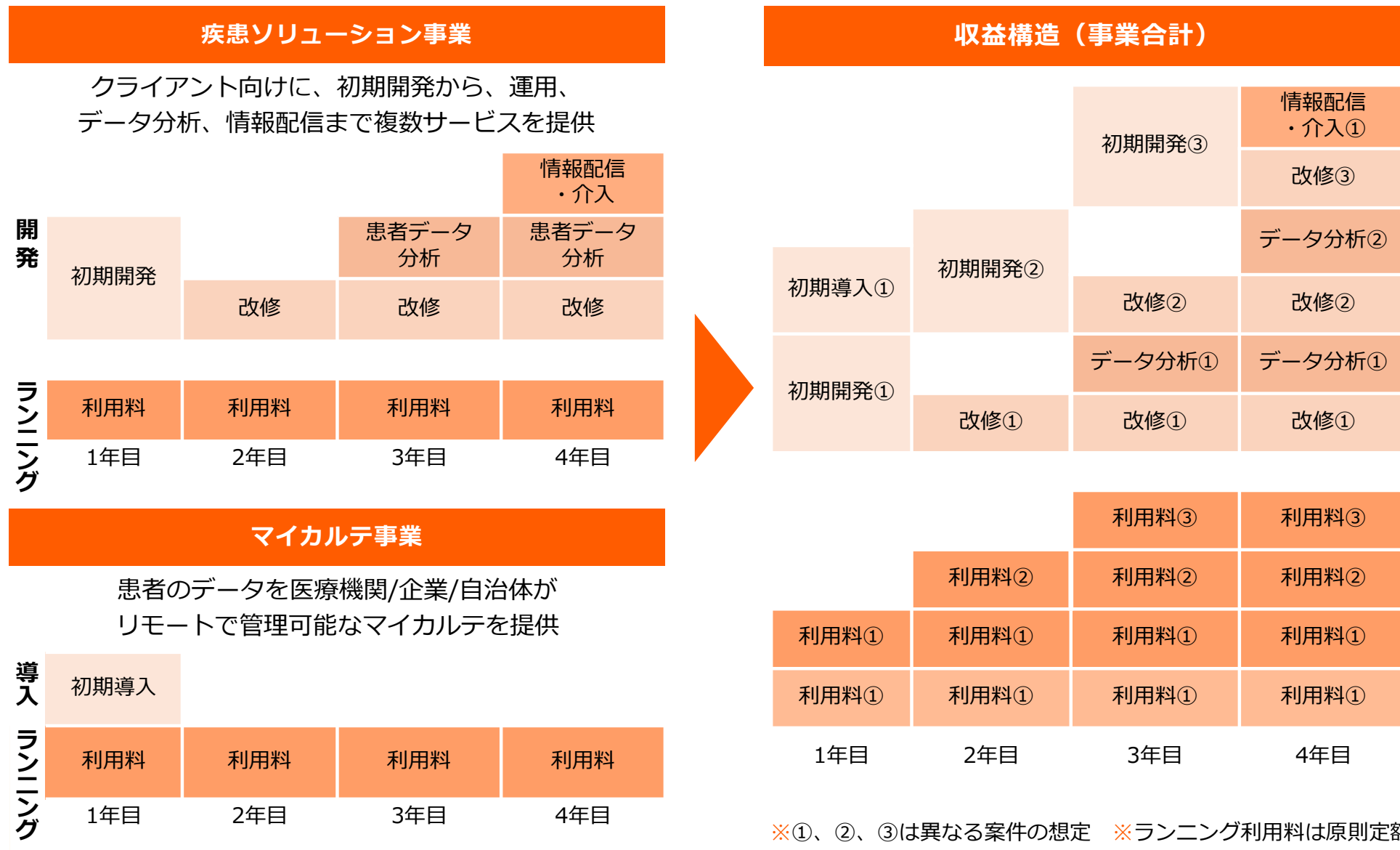
今後の成長

5

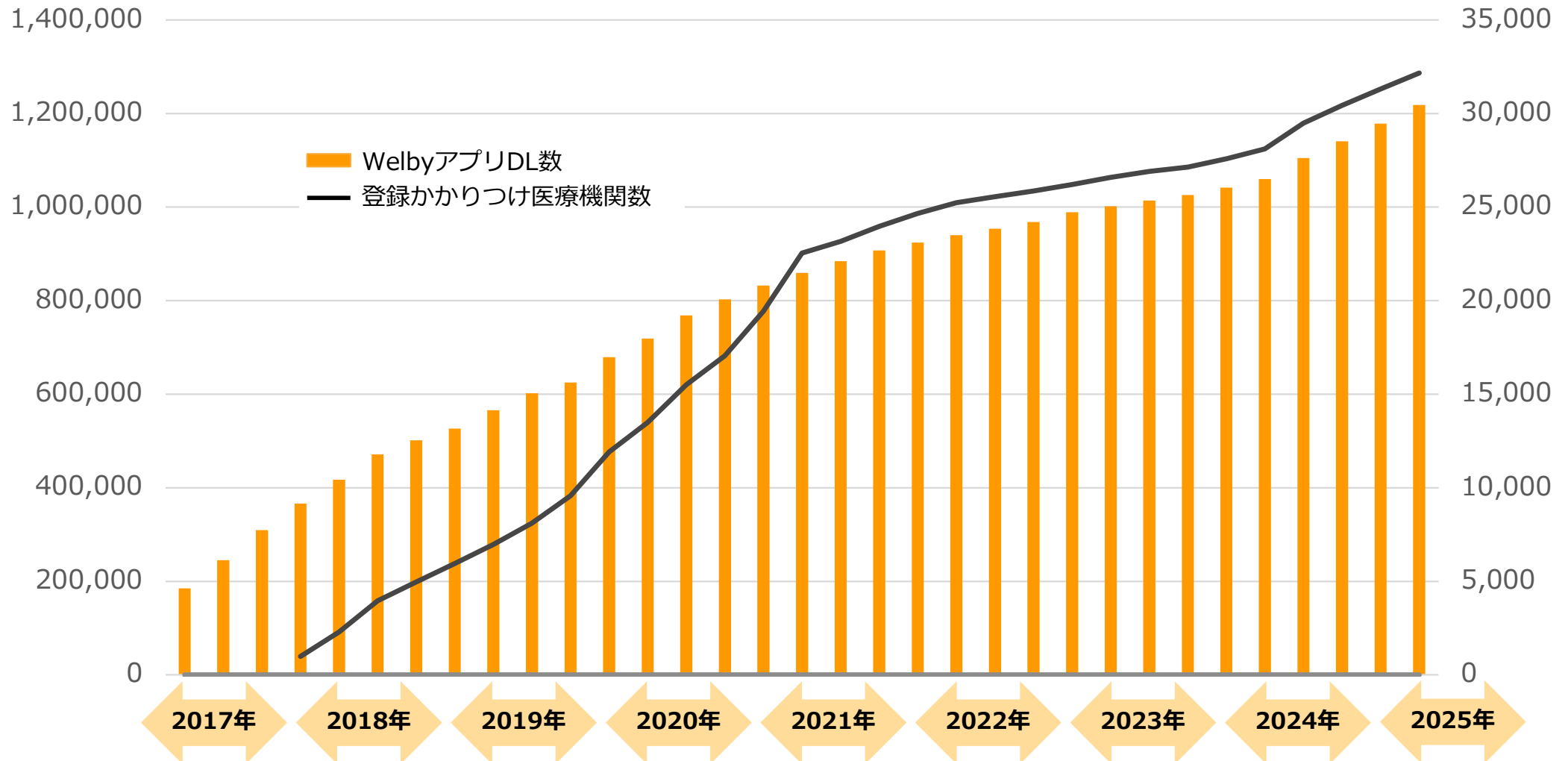
参考資料

疾患ソリューション事業は対象疾患領域拡大とサービス追加

マイカルテ事業は医療機関、企業及び自治体の導入拡充により継続的な成長を実現



2025年6月末現在でアプリDL121万人超、登録かかりつけ医療機関数は3.2万施設超



大項目	項目	主要なリスク	主な対応策
事業運営	個人情報の取り扱いについて	個人情報流出等の不測の事態が生じて患者個人のプライバシーが侵害される可能性	セキュリティの強化、個人情報保護法を遵守するとともに、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)であるISO27001の認証を取得。GDPR等諸外国の個人情報保護法制についても、外部弁護士等専門家に確認をしながら対応
事業環境	競合について	PHR業界での競合は同様の規模感のものは現在明確に存在しないが、今後高い知名度、幅広い顧客基盤を有する他社の参入等、当社の競争優位性が低下する可能性	対象疾患領域での早期のユーザー獲得、提供アプリの最適なUI/UXを追求した機能設計、特色あるサービスの提供、取引の安全性の確保やカスタマーサポート充実への取り組みなどにより対応
その他	各種規制について	関連法令や業界団体による規制等の改廃、新設が行われた際に、当社が何らかの対応を余儀なくされる可能性	渉外担当者を通じて制度改正のモニタリングや管轄官庁と連携して対応
事業運営	収益の季節変動性について	外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期における売上高及び利益がそれらの時期に集中する傾向	内資系製薬企業や他業種からの受注を拡大するなど案件の平準化により対応

※有価証券報告書記載の【事業等のリスク】に記載の内容のうち、主要なリスクを重要度が高い順に抜粋。その他のリスクは有価証券報告書を参照。

回次		第10期	第11期	第12期	第13期	第14期
決算年月		2020年12月	2021年12月	2022年12月	2023年12月	2024年12月
売上高	(千円)	864,644	1,139,189	1,050,994	575,496	528,043
経常利益又は 経常損失 (△)	(千円)	△237,404	△ 109,671	73,641	△ 438,840	△ 655,726
当期純利益又は 当期純損失 (△)	(千円)	△353,093	△ 130,675	33,909	△ 505,288	△ 819,751
資本金	(千円)	916,650	916,650	916,650	916,650	1,167,250
発行済株式総数	(株)					
普通株式		7,832,800	7,832,800	7,832,800	7,832,800	8,275,582
A種優先株式		—	—	—	—	—
純資産額	(千円)	1,357,539	1,259,278	1,274,118	1,117,813	838,339
総資産額	(千円)	1,520,139	1,394,108	1,395,516	1,205,338	1,167,243

※当社は 2019年10月4日付で1株につき4株に分割しました。

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。

本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、「事業計画及び成長可能性に関する事項」において、進捗状況を含む最新の内容を半期決算毎に開示する予定です。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

